

研究タイトル：

日本漢詩集を中心とした古典本文の研究及びその文学史的研究

氏名：	高島 要 / TAKASHIMA Kaname	E-mail：	kaname@ishikawa-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	文学修士
所属学会・協会：	日本近世文学会・和漢比較文学会・日本工学教育協会・北陸古典研究会		
キーワード：	日本古典文学, 和漢比較文学, 漢詩文学, 漢詩総集, 電子化テキスト, 王朝物語文学		
技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・日本漢詩集の編纂と歴史 ・古典文学本文の電子化テキスト作成と方法 ・王朝物語文学の読解と鑑賞 		


研究内容： 日本漢詩総集の本文とその文学史的研究

- 1, 日本漢詩文の電子化テキスト作成法と漢字総索引の作成及び文学史的研究について
 - (1) 漢詩本文をプレーンの電子化テキストとして作成する方法の研究。
 - (2) 上記により, 古代日本漢詩『日本詩紀』の電子化テキストを作成した。
 - (3) 『日本詩紀』の作品の典拠詩集を明らかにした。
 - (4) 上記電子化テキストにより, 古代日本漢詩の漢字一字検索及び漢字熟語検索を可能とする漢字総索引を作成した。
 - (5) 以上の成果は, 『日本詩紀本文と総索引』(勉誠出版・平成 15 年)として刊行している。
 - (6) 詞華選の近世日本漢詩総集『東瀛詩選』の電子化テキストを作成した。
 - (7) 『東瀛詩選』の典拠詩集を明らかにし, 収録詩人や編纂意義についての考察を行った。
 - (8) 上記電子化テキストにより, 近世日本漢詩詞華選の漢字一字検索及び漢字熟語検索を可能とする漢字総索引を作成した。
 - (9) 以上の成果は, 『東瀛詩選本文と総索引』(勉誠出版・平成 19 年)として刊行している。

- 2, 近世漢詩総集の本文研究及びその文学史的研究について
 - (1) 近世漢詩総集『熙朝詩薈』について, 以下のような基礎的研究を行う。
 - ① 収録詩人約 1500 名の実態を明らかにする。
 - ② 収録作品約 15000 首の典拠詩集を明らかにする。
 - (2) 以上の基礎的研究をもとに近世漢詩総集『熙朝詩薈』の成立事情, 漢詩史的意義について検討する。
 - (3) 以上の研究は, これまでに得られた電子化テキスト作成による方法により作成された漢詩集電子化テキストを用いて展開する。

- 3, 王朝漢詩総集と王朝物語文学について
 - (1) 王朝漢詩総集『本朝麗藻』の本文校異と注釈的研究。
 - (2) その成果は, 『本朝麗藻簡注』(勉誠社・平成 5 年・共著)として刊行している。
 - (3) 『本朝麗藻』と同時代の王朝物語文学『源氏物語』について, 日中漢詩漢文学との比較考察をふまえた読解のあり方についての研究。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	
『本朝麗藻簡注』(本朝麗藻を読む会・勉誠社・平成 5 年 7 月) ISBN4-585-03017-4	
『日本詩紀本文と総索引』(高島要・勉誠出版・平成 15 年 2 月) ISBN4-585-10091-1	
『東瀛詩選本文と総索引』(高島要・勉誠出版・平成 19 年 2 月) ISBN978-4-585-10431-5	